

東北新報

本報創刊二十二年... 印刷部 印刷部

松ヶ丘公園といはれても... 春装をきそふて咲きみだれ、数千の燈火いろとり

東北の地、観櫻の名所も... 然し松ヶ岡にまさる名所はいまだ耳にしないところ

石城郡最近の情勢はその経済的方面で... その不景氣風が平町として

矢先、例年のかき入れ月... さびしいものとなるやうでは堪へられない苦痛

議員の改選は更に二重の... さびしさであらう、故に町有志も、平町當局もい

かにせば観櫻気分を濃厚... 数萬の観櫻を吸収するが

酒は絶体に禁止すると... 石城支會で決議

死人の頭部を鐵棒でくださる 脳味噌をこる怪隠亡燒

十日平署員に檢舉さる 九日好間村に起つた事件

石城郡好間村上好間居住全村火葬場隣亡燒高橋藤三郎(五七)は去る九日午後五時半頃全村佐藤ハナ(五二)の火葬方を依頼されたので之を火葬場に入

癒す爲と 瘧亡燒の自白

火葬に附した死人の脳味噌を取つた事件は最近に於ける珍らしい事件として平署

家出人の群

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮

石城郡内郷村大字川平浪萬圓を要するこの中平小名花炭礦坑夫高木明重内縁の妻雲藤キヌ(三三)は六日朝突然家出して行衛不明

東京府下高田町雜司ヶ谷倉吉養女吉田鶴代(二七)は夫勝亮と二人の子供を置き去りにして去る四日無断家出小名濱町の實家に歸つた形跡あるの何れも平署に搜索を願ひ出た

面目一新の 郡内の自動車道路 平土木監督所に於ける四年度の大事業は鉾川沿岸工事並に重要な基道即ち小野新町平線石川湯本線平小名濱線の三線路で右路線の大改修工事總算は工事費三分一の新するものとして期待さる

思ひ乍らも 救済が出来ぬ... 平職業紹介所 托兒所の設置を希望

愛谷堰の一部を變更 して近く着工

筆洗ふ前に

平、東京間の電話 愈々直通となる 今年度より事業に着手し 年内に開通の見込

三ヶ町村共同經營で托兒所の設置を見たいものである。前の様な氣の毒な事情を有する婦人なども托兒所の設備さへあればいくらでも救済が出来るのであるがと語つてゐた

炭礦と云ふ大ききパックがある平紹介所は東北に於ては極めて多忙な紹介所として知られてゐるが、平紹介所管内は炭礦方面に婦人労働者を多數控へてゐるのであるから、出来る事なら炭礦か或は二

仙臺通信局では明年度電話計機模替となつた即ち取り市外線の大幅擴張を計画し本入口を従来のものより百五省に提案してあつたが本省十開上流に設置する等、その承認を経たので愈々管内れ、調査を行つてゐるが各方面の擴張は實現を見る 尙今十日農林省より杉浦技師縣係員を隨へて出張實地調査となつたがこれによると 師縣係員を隨へて出張實地調査となつたがこれによると 師縣係員を隨へて出張實地調査となつたがこれによると

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

平署でも 天手古舞 日増しに春めいて南枝の梅は既にほころんだか此の頃の人の心が自然に連れて浮かれ出を春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である。縣下の各所を通じてすべての事故が一番多い平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日現はれるが入口には女ばかりの家出三件が願ひ出でて来た春は人の氣を浮き立たせる斯ふした家出人等は毎日春の深むと共にならなつて行く

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木水子(四一)は五日午前八時頃無断家出

日曜歌壇

ごしん、御投稿を乞ふ

◎ 思出

八州生

白銀の舟の如かり孤雲  
ゆく かなたの空をな  
がめてさびしも

×

いつまでも忘れないで  
と云ひし言葉 わが胸  
深く刻まれており

×

そのかみの今日の思出  
まざりとよみがへ  
り来ていと、悲しむ

◎ 公園の朝

平町 渡邊穂都子

芝原に何處の君のわ  
すれしか 小さなさしほ  
りつゆにぬれつ、

×

◎ 無題

仙台 佐々木嘉代子

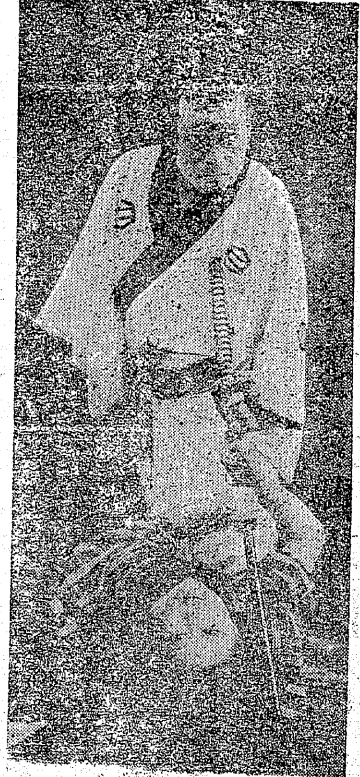
やぶかげにかほりゆ  
かしき蘭のはな

×

◎ 若き歌人へ  
若き歌人の希望によつて  
設けた日曜歌壇...それは  
全く有意義なことと思ふ  
のであります  
今日は歌壇日でありませ  
何卒御投稿あらん事を  
東日歌壇係

大岡政談

兎角噂さの中心人  
物となつて日活會  
社とゴタ／＼した  
大河内傳次郎が日  
活在社中の大作と



して群を抜いた大岡政談の丹下左膳と近日傳次郎と結  
婚する伏見直江が勢一パイの妙技を振つた捲巻のお藤  
映面の上に大河内の左膳がお藤に冷かさを見せて居る  
様に近頃は直江の愛をさげてる。傳チャン宜しくな  
い、當の傳次郎愈々松竹キネマに入社と決定をした  
寫真は目下平館上映中 (大岡政談)

石版印刷 迅速廉價  
本社印刷部

至急募集

營業局員 二名  
印刷職工 二名  
見習工 三名  
但十四五才以上 詳細は來談

東北日日新聞社

宴會席の設備あり!!! 小宴會歡迎

美味で女氣のない

イワキ食堂

平町紺屋町縣社通り  
電話四六〇番

平館際

魚 清

電六三三

魚が平で食へる... 魚の目丁二.....るへ食で平が

住宅向の

貸家あり

平白銀町

石島

漆器の御用命は是非

和久井屋

本町一丁目  
電話四〇五番

開店披露

時計とメガネ

御用命は是非

老も若さも

眼鏡をかけりや

かけた氣分の爽やかさ

松浪堂

貴金屬時計

鈴木時計店

平町前新道通り

新學期 通學服出賣

¥2,20.....倉小黒上  
¥4,20.....ルへ紺上  
¥4,20.....ジーザ紺上

◇.....荷入種各他其.....◇

かなや洋服店

二平 二電 三〇

磐城共濟病院組織

内科小兒科 (院長毎日診療)  
院長 醫學博士 難波  
副院長 醫學士 五十嵐雄二  
内科部長 醫學士 中西林藏  
外科部長 醫學士 中野憲  
外科 內臟外科、整形外科、レントゲン科  
外科部長 醫學士 桂重  
毎日曜手術 醫學博士 川添正道  
産婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二  
産婦人科 女子泌尿科、レントゲン科  
顧問 醫學博士 川添正道  
主任 醫學博士 難波  
本院醫事法制囑託法學士 岡澤忠治  
本院主事 賀澤忠治  
◇御大典記念事業トシテ  
一、衛生試驗所 (共濟病院内)  
一、病氣相談所 (共濟病院内)  
一、救療所 (共濟病院内)

電話六四一番 城 共濟病院  
入院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集

燃料界の親玉徳用煉炭

良品は多言を要せず

無煙無臭で火力強く

火持のよい事業敵なり。

火持のよい事業敵なり。

一個の卸注文でも直ちに配達致します

磐城殖産合同株式會社  
練炭部  
平町南町五〇 電話四六番

洋服の御用命は是非

田町の

大崎 (電三二七)

御問合せ下さい

平町田町  
高久病院  
電話五二三番  
醫學士 高久忠  
新瀉醫學士 赤羽清  
藥劑士 佐竹菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科